神戸の老舗ロースター
炭火焙煎の萩原珈琲が発行する機関紙

Vol.10

萩原珈琲ジャーナル

萩原珈琲ってこんな会社

2022 summer

灘生まれ、灘育ちのコーヒー鑑定士がつくった、灘のブレンド３種。

この商品は売上の一部を寄付しています。 摩耶ブレンド、灘のおやじブレンドは摩耶山再生の会を通じ、摩耶山で行われる活動や、坂バス事業に。灘の下町ブレンドは地元、市場（いちば）で企画・運営のためにご活用頂いています。

小さいころ。摩耶山をかけのぼった。とある日。おやじ達と、市場の中で話し合った。市場の中。そこはまるで冒険の世界だった。

摩耶ブレンド

珈琲鑑定士の出身である保育園～高校を出るまでは、「耐寒登山」と称し、毎年摩耶山を登るし、各校の校歌や賛歌には、必ず「摩耶山」が登場する。部活動の練習でも、登ったり走ったり。現在でも月に１度は登る。ちょっとした「アイデンティティ」を感じる摩耶山に想いを馳せ、会社の創業 90 周年に合わせて作った、「摩耶ブレンド」。

灘のおやじブレンド

灘区役所まちづくり課の企画「灘オヤジラボ」。おやじ達の為の、おやじによるブレンド作り。
３人１組でブレンド珈琲を作成。１組ずつ発表し、珈琲鑑定士よりグランプリに輝いたブレンド。
はじまりは華やかで甘く果実感があり、飲むほどにふと懐かしさが広がる、おやじ達の青春ミックス。

灘の下町ブレンド

市場の前を通る。喫茶店の中を覗いて、手を振る。私たちがコーヒーを焼きはじめた創業の地、そして、鑑定士の父の代までが生まれ育った場所。
灘の下町ブレンド。それは、色んな香りが混ざり合った、今はなき記憶の中の「市場」の香り。どっしりと濃厚で、香ばしい苦味は、どこかしら市場の喫茶店の味に似ている。

灘の３種ブレンド
NOTE 記事